

事業所名 グループホーム ねむの樹

日付 平成 21 年 7 月 29 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 介護福祉士
ケアマネージャー

高齢者福祉・医療における
実務経験3年以上

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

管理者の行動一つひとつとってみても、本当に介護に対する前向きな気持ちと入居者に対して家庭的でありたいと言う気持ちがひしひしと感じられるグループホームである。お風呂や食事も入居者の生活ペースに合わせて、職員も嫌な顔をせず、前向きに一生懸命介護に取り組んでいる姿が印象的である。職員間のコミュニケーションも上手く取られており、食事の仕度や洗濯物たたみ等も責任分担され、申し送りや確認事項もしっかりと行われている。職員自身も入居者との会話を楽しみながら、ゆっくりのんびりと一緒に新聞を折ったり、塗り絵や計算問題、漢字の読み取りなどをしたりして、介護に取り組んでいる。

広い共同スペースには、入居者自ら行え、リハビリに結びつく物(平行棒や筋トレ器具等)が多数あり、車椅子の入居者が自由に平行棒を利用して、自ら歩行訓練を行ったり、マッサージチェアで筋肉をマッサージしたりしている光景が見られたが、それを職員はしっかりと見守りながら、服がはだけた時もしっかりとカバーして、個人を尊重した姿勢が伺える。また、入居者のための思い、作成した和室(段が低く上がり易い)やトイレ(車椅子でも便利)は、代表者自ら設計に携わったものでもあり、より快適に生活するために重要な役割を占めていた。

食事に関して、入居者に曜日の感覚を掴んでもらうために、カレーライスの日(日曜日)を設定している。また、入居者から要望等を聞きだし、旬の物を取り入れ、見た目も体にも良いメニュー作りをしている。時には、外出して勝北にある農業公園ノースヴィレッジの池のほとりで弁当を食べたりすることもある。

常に入居者の思いを感じ取りながら、安全第一で本人の能力を最大限発揮させている。入居者が家に居る時と同様に、且つ入居者に出来る事は何かと探しながら、職員はやりがいを持って、より体力の低下を防げるようにしている。また、積極的に勉強会や講習会に参加し、職員同士分かち合いながら、スキルアップを目指しているそんな施設である。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

要改善の項目はありませんでしたが、定期的に日々の暮らしが伝わるような便りがあればもっと家族に安心感が増し、太い繋がりができるのではないのでしょうか。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>基本理念に沿って、施設的になりがちなところを、上手く職員の笑顔や家庭的で制約しない環境を作ることによってカバーしながら、トータルにターミナルまでを基本としたグループホームを目指しています。事業主は職員に、穏やかな介護支援を心掛けるよう伝えており職員も家庭的でレベル維持できるよう安心した生活の援助を行い、家族と話ながら問題等の共有に力を入れている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>職員自身が役者となって楽しみながら、介護に取り組んでいる。また、動物(うさぎのチェリーやリリー、美容師の方が連れて来る犬)を利用して、癒しを提供している。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>畑に季節の野菜を植える時には、何を植えたらいいいのか入居者に聞きながら行っている。また、元調理師の方や家庭科の先生もいらっしゃるの、料理の仕方や工夫のアドバイスをもらいながら、実践している。</p> <p>入居者の個人的な事に関する話は、入居者の気持ちに立って、小さな声や各居室へ移動して他者に聞こえないような配慮をしている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>代表者や外部の人(提携医療機関の先生等)を呼んでモチベーションアップや口腔ケアの勉強会、バリテーションの講習会を開いたりしている。また、津山市主催の研修会やセミナーに、積極的に参加している。その際、参加したメンバーは最後に報告書を作成し発表する事で、職員で分かち合えるようにしている。</p> <p>介護福祉士の試験を毎年受けている。今年は4人合格。各職員のスキルアップにも役立っている。</p>		